令和７年９月２２日

お客様　各位

ＰＯＲＴＯＢＥＬＬＯ　ＲＯＡＤ株式会社
ＣＥＯ　　奈良﨑　匡平

顧客情報流出に関するご報告

謹啓

初秋の候、お客様におかれましては、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、ＰＢＲレンディングをご利用いただき、誠にありがとうございます。

先日来、合同会社リンクスゲートへの顧客情報流出の件（以下「本件」といいます。）につきまして、お客様には多大なるご心配とご迷惑をおかけしており、誠に申し訳ありません。

本件につきましては、弊社の調査の結果、外部からの不正なアクセスの痕跡がなかったことから、弊社の顧客情報にアクセスできる内部または内部に近い者の犯行であることを疑い、並行して調査しておりましたところ、弊社が広告等の販売促進活動を委託していた株式会社ゼロアンリミテッドの代表者が、弊社の顧客情報約８００件を不正に持ち出し、リンクスゲート社（ゼロアンリミテッド社は、リンクスゲート社から暗号資産レンディング事業を創業することについてのコンサルティング業務を受託していたようです。）へ提供していたことが明らかとなりました。弊社の調査に対し、同代表者が犯行を自認したものであり、同代表者の説明によれば、持ち出した情報は、「ＫＹＣ情報をまとめたデータであり、お客様の氏名、生年月日、住所が含まれるが、暗号資産の数量等の取引に関わる情報は含まれない」とのことです。弊社は、直ちに流出したデータを回収し破棄するとともに、ゼロアンリミテッド社との業務委託契約を解除し、弊社のすべての情報にアクセスできないように対処いたしました。

弊社は、両社を刑事告訴するべく、準備を進めてまいりますが、並行して、両社の代表者と面談し、より詳細な事実関係（流出したデータの正確な範囲や利用方法等）の確認、リンクスゲート社に流出したデータの回収・破棄、リンクスゲート社から他社への流出の有無の確認、損害賠償請求に

関する協議を行いますので、続報をお待ちいただければ幸いです。

本件は、リンクスゲート社とゼロアンリミテッド社とが共謀のうえ、弊社の顧客を自社事業に勧誘して不正な利益を得ようとし、あるいは、弊社の事業に損害を与えようとするものであったことが明らかとなりました。一緒に事業を成功させようと頑張ってきたはずのゼロアンリミテッド社の裏切りには驚くばかりですが、お客様の資産を取り扱う弊社としては、常に万一を考えて対策を講じておかなければならないことを改めて認識いたしました。この機会に、暗号資産や顧客情報の管理・保管に関する仕組みのさらなる見直しを実施し、内・外からの不正なアクセスに対して万全の防御態勢を構築してまいります。まずは、ＫＹＣ認証業務も、販売促進に関する業務も、すべて自社内で行うよう軌道修正いたします。社内では、必要最小限の従業員しか情報や暗号資産にアクセスできないよう、権限保有者をさらに限定し、ごく少数の者が相互に監視・監督しながら管理する体制へと見直すとともに、社員教育を改めて行い、再発防止を徹底してまいります。また、今回は、ハッキング等の不正アクセスではありませんでしたが（創業以来２年以上にわたってそのような被害には遭っておりません。）、この機会に、パソコンやコールドウォレット等の機器の入れ替え、パスワード等の変更をはじめ、改めて、システム面についても順次安全性の見直しを行い、システム上改善すべき点の有無を検証し、実際に改善を進めてまいります。このあたりの改善状況につきましても、追ってご報告申し上げたいと存じます。

改めまして、このたびは、お客様からの信頼を揺るがし、ご不安を与える結果となりましたこと、心からお詫び申し上げます。情報漏洩の対象となりましたお客様に対しましては、別途、お詫びと何らかの形での補償をさせていただくことを考えております。ご不安が解消されるには今しばらくお時間を要することと存じますが、誠意をもって真摯に対応してまいりますので、引き続き弊社事業をご愛顧賜りますよう何とぞよろしくお願い申し上げます。

謹白